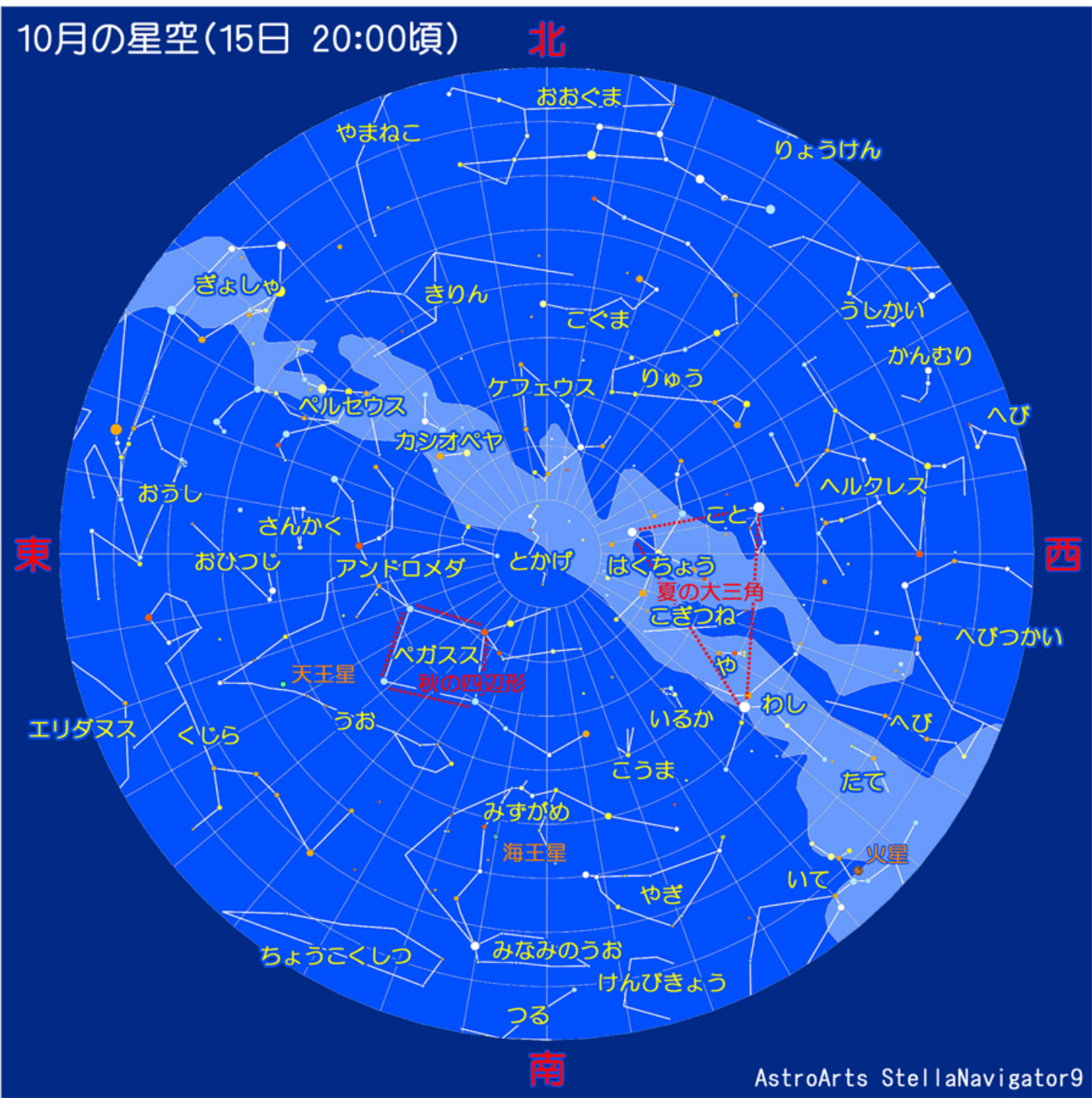


銀河の森天文台
2016年10月のみどころ天体情報



月

	出	没
1日	● 新月	05:12 17:25
9日	● 上弦	12:29 22:30
16日	● 満月	16:58 05:15
23日	● 下弦	23:02 12:46
31日	● 新月	05:59 16:55

天文台から月を見ることが
できるのは3~19日頃、望
遠鏡での見頃は上弦前後で
す。

距離：約38万km

栗名月
(10月13日)

名月といえば、旧暦8月15日の中秋の名月が有名ですが、もう一つ旧暦9月13日の栗名月も美しいとされています。

中秋の名月とは違い、少し欠けた様子がはっきりとわかるもう一つの名月もお楽しみください。

天王星・海王星

太陽系の外側から2つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離

天王星：約29億km
海王星：約45億km

M31 (アンドロメダ銀河)

私たちの銀河系のおとなりとも言える銀河です。近いこともあり、銀河としてはとても明るく見え、肉眼でもちぎれ雲のように淡く光る様子を見ることが出来ます。

距離：約230万光年

M15 (球状星団)

ちょうどペガサスの鼻先に位置する明るい球状星団です。数十万個もの星々が集まっていて、望遠鏡では中心部まで星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

NGC7662 (惑星状星雲)

アンドロメダ座にある惑星状星雲で、青い雪玉 (Blue Snowball Nebula) という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色がとても印象的です。

距離：2000~6000光年

Me1. 20 (散開星団)

ペルセウス座の中央、肉眼でも星が多く見えている部分が、Me1. 20です。

まばらでな散開星団のため、肉眼又は10倍程度の双眼鏡で見るのが良いでしょう。

距離：約507光年

ちょっとマニア

・ステファンの五つ子

5つの銀河 (NGC7317、7318a、7318b、7319、7320) が接近している様子からこの名前で呼ばれています。このうちNGC7320は実際には他とは距離が離れています。

距離：約2億1000万~3億4000万光年 (NGC7320のみ、約3900光年)

- その他おすすめ**

- ・M2 (球状星団)
 - ・M33 (銀河)
 - ・M57 (惑星状星雲)
 - ・NGC7293 (惑星状星雲)
 - ・NGC7331 (銀河)
 - ・h-χ (散開星団)
 - ・アルマク (重星)
 - ・ガーネットスター (恒星)

今日のイチオシ！

☆M45 (すばる、プレアデス星団)

「星はすばる」と枕草子にもかかれているほど古くから親しまれている天体です。夜空に小さな光が集まってチカチカと輝いている様子はやはり気になる存在だったのでしょうか。

約100個の若い星々からなる青白い色がとても美しい星団で、肉眼で5~7個、双眼鏡では数十個の星が集まっている姿を見ることが出来ます。



M45

10・11月の銀河の森天文台カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)
13:00~21:30
(10月~3月)

休館日